

キャラクター名  
大貫 忠弘 (オオヌキ タダヒロ)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
	サラマンダー					
オプション			年齢	18	性別	男
覚醒	生誕	衝動	憎悪	初期侵食率	35	%
出自	待ち望まれた子	経験	仲間の死	邂逅	借り	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	33
肉体	4	0	0			4	行動値	7
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	7
精神	2	1	2			5	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避	1		知覚			意志	2	1	調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
氷華炎舞		0				侵蝕14/装甲値無視/同エン不可
0-59	R C	10r+4		42		@ 8
60-79	R C	11r+4		42		@ 8
80-99	R C	12r+4		42		@ 8

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: UGN幹部	
コネ: 噂好きの友人	
中畑のIDカード (思い出の一品)	
桐生のIDカード	
制服	
携帯電話	
大貫のIDカード	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
対抗種	P	N		
ヨハン・C・コードウエル	P 執着	N 復讐心		
結識 玄	P 庇護	N 恥辱		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8    残り財産P: 4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
氷の回廊	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	飛行状態で戦闘移動、移動+[LV*2]m							
CONSE: サラマンダー	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-[LV]							
氷の塔	7	4	メジャー	視界	範囲(選択)	対決	-	
効果:	攻撃力+[LV*3]、同エン不可							
氷炎の乱舞	7	4	メジャー	-	-	対決	リミット	
効果:	攻撃力+[LV*3]、ダイス-2							
結合粉碎	5	4	メジャー	-	-	対決	ピュア	
効果:	ダイス+LV、装甲値無視							
ホーム時代	◇							
効果:	もう戻ってこないまぶしかった日々							
快適室温	★	-	メジャー	至近	-	自動	-	
効果:	快適な温度に変更する							
氷の理	★	-	メジャー	至近	-	自動	-	
効果:	触れた物体を冷す							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

コードネーム: ドイツ語で「双頭」の意、炎と氷の二つの頭を持つ  
誕生日: 8/26    血液型: B

その手の界隈では有名で由緒正しい剣術流派の待望の男児として生まれた。血縁関係は父(仁雅)・母・姉が二人(滯・真琴)。そのためやむなく家族と門下生全員に記憶操作がされており、『大貫忠弘』という人間は端から存在しなかったことになっている。なお大貫家の分家の者はそこそこオーヴァードが多く、UGNに協力している者も少なからずいる。個人や企業に仕える護衛的な職業の者も多い。

しかし待ち望まれていたというのに、生まれたときからオーヴァードで、退院直後実家でその力を発現・暴走させ、実家を全壊させた。そのためにやむなく家族と門下生全員に記憶操作がされており、『大貫忠弘』という人間は端から存在しなかったことになっている。なお実家は自身と同じ年の養子をとっており、本来自身がいるべき場所にいるために日々努力をしているらしい。半年ほど前に実家のことを調べる際に、すっかり彼と鉢合わせしてしまっていて、実家の事情は知っている。彼が努力を惜しまぬ『人間』であると判断し、単に近寄りたくないという理由ではなく信頼という意味を持って、実家のある街には出向かないようになった。しかし実家のある街で大きな事件があるのであれば、任務の合間を縫ってでも救援に向かうと思われる。

ホームでは『ラムル=セット』中畑侑弥と幼少から共に過ごし、そこに来るまで母親から虐待されていた中畑の心を溶かしたのだが、大貫君はその事実を知らない。二人は本当の兄弟のように育ち、互いに自分こそ兄であると思っていた。その後『ライトニングボルト』桐生嚆矢と出会い(ここで『オシリス』結識玄とも顔を合わせているのだが、あまり深い関わりではなかった)、ひと悶着あったが無事に和解し、その後は三人でつるんでいた姿をよく確認されている。『三馬鹿』の呼び名もこの頃から。実力は十分でチームワークも抜群の三人組であったため、切り離されることもなかったのだが、それ故に小さな問題をいくつも起こして、始末書・報告書を書く常習犯だった。また中畑・桐生の名前を付ける。大貫君は家族に自分の記憶がないことを知りながらも、その繋がりを断つことができず、与えられた名前をずっと大切に持っ